

遊歩道の景観に対する若者の選好分析

福山大学工学部 正 員 井上 矩之
福山大学工学部 学生員 ○仏淵 敬行
福山大学工学部 根来 俊介

1. はじめに

本研究の目的は、遊歩道を設計するに当たって、どのような①風景、②路面の材料、③勾配部の形態の道が好まれるのかを、福山大学生を対象に明らかにすることである。

2. 遊歩道の現地調査

福山大学から容易にアクセスでき、また延長が29 kmもあり、途中多様な風景、路面材料、勾配形態が存在すると思われる笠岡市神島88カ所巡礼の道を、アンケート資料採集の対象とした。

平成9年9月23日(火)、10月4日(土)、10日(金)の3日間にわけ、対象遊歩道を順路に従って歩き、写真を撮影した。11月11日(火)に幾何構造や景観確認のため、再度全コース歩いた。

3. 選好性の分析

3. 1 平坦部の評価

(1) 調査票 アンケート調査票は写真票と回答票の2枚一組である。現地調査で撮影した写真から

①路面の材料 地道(土・砂、岩石)、舗道(コンクリート、アスファルト)

②沿道風景 山中、海辺、水辺、田畑、住宅を考慮して、特徴ある写真を10枚選んだ(図-1)。

写真票を見せて、-3~3点の7段階評価するとともに、10枚の写真に順位を付けてもらった。

(2) アンケート調査の実施 福山大学土木工学科3年生86名。内80名が有効回答。

(3) 全般的な評価

海辺の砂利道(J)が最も好まれた。次いで山中の地道(A)、コンクリート舗装の畑に沿った曲がった道(H)が好まれている。最も嫌われたのは住宅地の中のアスファルト舗装の道(C)、次いで住宅の軒下を通る狭い通路(E)である。

表-1 回答の平均点

写真	A	B	C	D	E
平均	0.88	0.36	-0.88	0.09	-0.60
写真	F	G	H	I	J
平均	0.25	-0.16	0.86	-0.08	1.11

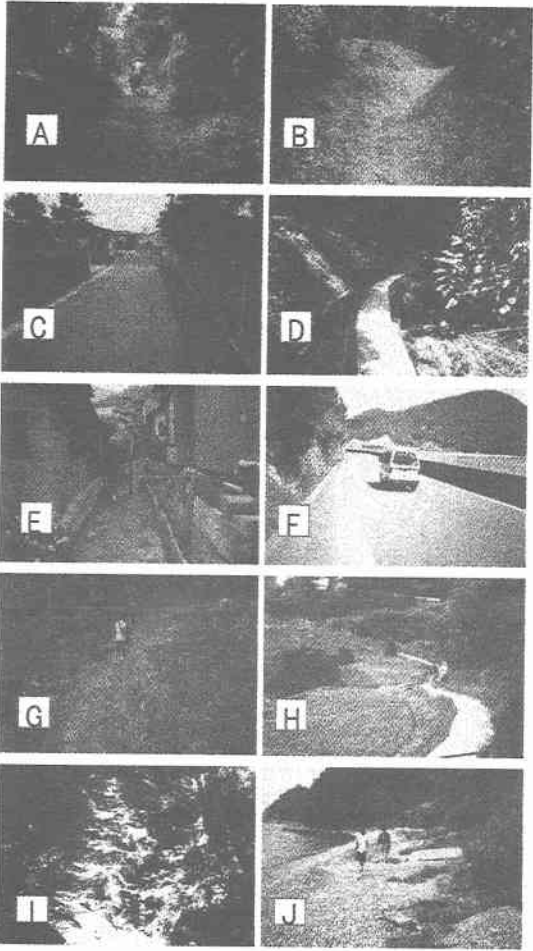


図-1 アンケート調査の写真票(平坦部)

(4) 路面材料と評価

石や土の自然の道の方が人工の舗装の道より評価が高い。予想に反してコンクリートの評価が高い。H(田圃の中の道)が効いた。スキャナ画像の出来映えが今ひとつで、コンクリート舗装か地道かの識別がしにくいのが問題である。

表-2 路面材料別の平均点

種類	コンクリート	アスファルト	土	石
写真	DH	CF	ACG	IJ
データ数	160	160	240	160
平均	0.48	-0.31	0.36	0.52

(5) 沿道と評価

宅街は嫌われ、海辺・田畑・山中が好まれる。

表-3 沿道風景別の平均点

種類	山中	住宅	海辺	田畑
写真	ABDI	CE	FJ	GH
データ数	320	160	160	160
平均	0.31	-0.74	0.68	0.35

(6) まとめ

コンクリートやアスファルト舗装で住宅街の中の道は嫌われ、土砂や岩石でできた海辺・田圃の中・山中の道が好まれる。

水辺の写真を3枚入れた。海辺の2枚は予想通り評価が高かったが、溪流の写真(I)は低かった。スキナを介して写真を取り込み、印刷して写真票を作成したのだが、写りが悪く水を認識できなかったようで、再考が必要である。

3. 2 勾配部の評価

(1) 調査票 平坦部と同様、現地調査で撮影したの写真から

①路面の型(階段、坂道)

②人工度(自然、半人工、人工)

を考慮して、写真8枚を選んだ(図-2)。

(2) アンケート調査の実施 福山大学土木工学科2年次生75名。内71名が有効回答。

(3) 全般的な評価

擬木の階段(E)が最も好まれた。次いで自然石を並べた連続型坂道(G)、石積みの階段(D)が好まれ

る。最も嫌われたのがコンクリートの階段(A)、次いで自然の岩場(B)である。岩場については、スキナ図の出来映えが良くないので再考が必要。

表-4 回答の平均点

写真	A	B	C	D	E	F	G	H
平均	-0.97	-0.69	0.62	1.21	1.46	-0.06	1.13	0.20

(4) 路面の型と評価

坂道型が若干低いように見える。しかし、実際とイメージが著しく相違した写真Bが混じっていること、また点数の度数分布の類似性を考慮すると、階段型、坂道型で差がないといえる。

表-5 路面類型別の評価

種類	階段型	坂道型
写真	ADEH	BCFG
データ数	284	284
平均	0.48	0.25

(5) 路面加工度と評価

擬木、自然石の階段といった、半自然・半人工構造が評価が高い。岩や土の地道は評価がわかれた。

表-6 路面加工度別の評価

種類	自然	半自然	人工
写真	BC	DEG	AFH
データ数	142	213	213
平均	-0.04	1.27	-0.28

(6) まとめ

擬木や石畳のような疑似自然の評価が高い。階段と坂道で差がでなかった。

スキナを使用した写真の出来映えに問題があり、イメージが実際と乖離している恐れもある。

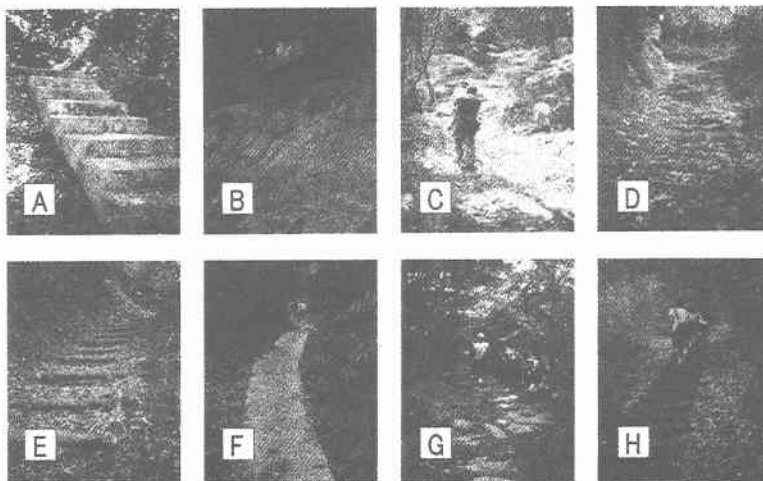


図-2 アンケート調査の写真票(勾配部)

4. むすび

身近な福山大学生を回答者にして単純な考察したに過ぎない。しかしながら、水辺、山中、野良(田畑)、住宅街という順に好まれているということは、生命が海に誕生し、上陸し、森の中の採集生活から、野原での農耕、現在の都市生活へという、太古の時代からの人類の進化の歴史を反映しているとも考えられ、年齢・民族を越えた普遍的な性質につながる可能性もあるのではないか。